

産学官連携アップサイクル製品企画

Joint Project for Upcycled Product Planning (Industry-Academia-Government)

ヒューマンテクノロジー部 大久保 京子・印南 小冬
ものづくり支援センター 高木 友史

■支援の背景

道内の廃棄物処理企業では、自動車のシートベルトやエアバッグ、ハンドルといった廃材の有効活用が課題となっていました。また、既存のアップサイクル製品におけるマーケティング戦略にも改善の余地がありました。

そこで、専修大学商学部と当場は、共同でアップサイクル製品の企画・開発に取り組みました。学生達のマーケティングの視点を活かした柔軟なアイデアに対し、当場が技術的なノウハウや、素材特性などの専門的な知見に基づく助言・指導を行い、試行錯誤を重ねながら製品化の可能性を追求しました。

■支援の要点

1. 市場受容性の高いアップサイクル製品の要件に基づく助言
2. 自動車廃材の物理的特性等の情報提供
3. プロトタイピング手法による製品デザインの具現化に対する助言



成果発表会の様子



アップサイクル製品プロトタイプ

■支援の成果

1. 当場にて成果発表会を実施し、自動車廃材の素材特性を活かした革新的なプロトタイプを多数公開しました。発表会の様子は、テレビ報道を通じて広く紹介されました。
2. 提案された企画のうち、市場性の高い案については、現在製品化フェーズへと移行し、企業とともに具体的な検討を継続しています。